

2010 港区夏季テニス大会

主催 港区教育委員会
(財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (財)港区体育協会
主管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男
ディレクタ 岡山 暢子
レフェリー 岩垣 浩子
大会運営係 ラヴァーズテニスクラブ

日時 2010年8月8日 8:00~17:00 小雨の場合決行

会場 芝浦テニスコート(オムニコート) 港区港南1-4-1
当日の連絡 090-1117-5121

種目 男子ダブルス

集合時間

No. 2-3 28-29 32-33 58-59	の方は AM 7:50
No. 4-5 26-27 34-35 56-57	の方は AM 8:10
No. 6-7 24-25 36-37 54-55	の方は AM 8:30
No. 8-9 22-23 38-39 52-53	の方は AM 9:00
No. 10-11 20-21 40-41 50-51	の方は AM 9:20
No. 12-13 18-19 42-43 48-49	の方は AM 9:50
No. 14-15 16-17 44-45 46-47	の方は AM 10:20

上記以外の方は AM 10:40 までに受付を終了してください。

試合方法 トーナメント戦 6ゲーム先取 ハードハンテッジスコアリング方式
セルフジャッジ方式(天候等により変更する場合があります)

表彰 1~3位(表彰状)

その他

- ・試合球は参加者がダンロップフォートイエロー(2個入り)を用意する。
- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

・判定とコール

(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。

(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。

・カウントのコール(サーバーの義務)

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。

・サービスのレット

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとき判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)

・試合が終了したら

勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。セットボールは敗者が持ち帰る。